特定非営利活動法人
マナー教育サポート協会　会報誌

NPO M.S.A
第５号　2006.10.21発行

第５号

まなべる　まなぼう

＜目次＞

■ＪＦＡアカデミー福島でのマナー研修　岸田輝美　吉村景美
■ニューヨーク☆ｌｉｔｔｌｅマダムだより　鐘ヶ江美和子
■講師養成講座を受講してみて　森田芽維美
■夏休み親と子のテーブルマナー講座　古関裕美
■賛助会員様インタビュー企画
　レストランおまかせ亭様　広報部

●事業部活動報告　青木まき子　岸田輝美
●ミニコラム「厄年」について　広報部　松井憲子
●花天の会について　事務局
●活動報告及び予定　事務局
●甘草屋敷の子ども図書館のPhotoShot　広報部
●賛助協賛企業・団体様紹介、運営体制、お問い合わせ

ＪＦＡアカデミー福島でのマナー研修

日本サッカー協会アカデミー福島様（http://www.j-village.jp/index.html）からマナー教育サポート協会にご依頼を頂きましたマナー研修も、９月で５回目を終え前半終了となりました。残り後半５回です。初回、理事長の岩下より、「マナーとは」という最も基本的な、マナー（思いやりの気持ち）の素晴らしさを伝え、男子クラスを岸田輝美が、女子クラスを吉村景美が担当しています。

日本サッカー協会アカデミー福島様では、サッカーを越えた社会で将来的にリーダーとなりうる人材の育成を目指しておられ、全国から選抜されたサッカー少年、少女たちを一堂に集め、様々な学びの場を企画されています。

このような主旨からもわたくしどもの役割・責任も重大なものであると痛感しております。さて、今回は、実際に彼・彼女たちにマナー研修を行っている現場の様子について、会員の皆様にご案内させて頂きたいと思います。

【男子クラス】　担当：岸田輝美

私は思い出の研修風景を紹介したいと思います。

第２回「普段の食事のマナー」では、お箸の扱い方の練習に豆拾いゲームをしました。シーンと張り詰めた空気の中でのゲームとなり、１回目のタイムより２回目の方が良くなり、３回、４回ともっと挑戦したい！と熱く叫ぶ選手たちでした。たとえその日は上手くできなかったとしても、『継続は力なり』です。後日談では、監督やコーチが、選手たちに箸の扱い方について指摘され、非常に食べづらい思いをしたそうです。しかし、選手の皆さんがそうやって意識をしてくれ、人の所作を指摘できるほどになったのなら、私も嬉しい限りです。

第４回「コミュニケーションの取り方」では、ペアを組んでもらい、それぞれ監督と選手の役になり、とっさに正しい敬語が使えるかどうかのゲームを行いました。問題が出尽くした時点で、同率１位が５ペアだったのですが、絶対に１ペアだけの優勝を決めたいとの要望があり、問題を追加しましたが時間切れで３ペアが優勝となりました。勝つことへの執着心に感服しました。

第５回「電話のマナー」では初めて触れる電話機に物怖じすることなく、自ら進んで挑戦する姿に私も勇気をもらいました。マナー教育サポート協会が、そして自分自身が考えている“マナーの形”をしっかり伝えていこうと毎回伺うのですが、逆に色々な“思いやりの形”があるんだということを、選手の皆さんから学ぶことも多いです。

「マナー」という言葉を聞いただけでどこか緊張している選手たちに、私は「挑戦してください。何度失敗してもＯＫです。とにかく挑戦しないことには失敗も成功もないのだから。」と話しています。そんな思いに理解を示してくれているのかなとも感じています。毎回、帰りの電車で、今日の満足よりも来月はどんな話をしようかワクワクしている自分に幸せを感じています。ありがとうございます。

【女子クラス】　担当：吉村景美

ありがたいことに、私は女子クラスを担当させて頂いております。毎回、緊張感とともに楽しみにしながら、J-VILLEGE に伺います。選手の皆さんは、あどけなさが残るかわいい女の子たちですが、将来女子サッカー「なでしこジャパン」を目指し、頑張っているたくましい子どもたちです。女子は、中学一年生から高校一年生までの２３名で、皆が親元から離れ、地元の学校に通いながら、指導者の下、集団生活をしています。私が見ている彼女たちは笑顔が一杯でかわいくて仕方がありません。

私が毎回、肝に銘じていることは、岩下先生の「マナーは愛、思いやりの心」が大前提ですが、もう１つ、彼女たちが一流のサッカー選手を目指しているんだということです。だから、毎回テーマは異なりますが、必ず精神、心の強さに繋がる考え方を伝えようと気合が入ります。（上手く伝えられているかどうかはわかりませんが。）しかし、子どもだから難しいということはないと思うようになりました。何でも吸収できる素晴らしい時期に彼女たちはいると感じます。そして、感性というものは年齢ではなく、何かを成し遂げようと一生懸命になっている人間ほど、鋭敏になるものだと思います。

人への思いやりの表現は、全て自分が胸を張って生きていける礎（いしずえ）になります。私が小さい頃は、「誰も見ていない、分かってくれないと思ってもお天道様がちゃんと見てくれているよ」と言われたものです。そのとき、「嘘だ～」と感じたのではなく、「何か自分では分からない大きな力があるのかな～」と感じたものです。

７月に選手たちが、親や地元でお世話になっている方々への御礼企画としてバーベキューでのもてなしをする場に招待してくださいました。彼女たちが伝えるメッセージに、大人たちは涙がほろりでした。つまり感動したのです。感動させるってとても難しいことです。感動させることができるのは、伝える側に思いや情熱などの真剣さがあるからです。嘘は心に響かないのでバレます。子どもだからこそ、こちらも飾ることなく真剣にやらねばと教えてもらいました。私が多くを学ばせて頂いているなと、感謝の気持ちで一杯です。皆様のお蔭です。ありがとうございます。

ミニコラム　『厄年』について

男性は普通 25 歳、42 歳、61 歳、
女性は 19 歳、33 歳、37 歳、61 歳と言われています。
特に男性の 42 歳と女性の 33 歳は人生の大厄とされ、
特に身を慎まなければならない期間とされています。

厄払い・厄落としの方法は、地方によって様々ですが、中にはお参りをした際、身につけている物をわざと落し、厄を一緒に落とすという風習があるそうです。また、２月１日に門松を立て、お雑煮を食べたりして、この日をお正月として祝うこともあります。これは、「年重ね」「年直し」などと呼ばれ、こうする事により、ひとつ年を取って厄を過ごしたとするものです。

厄払いの贈り物には、一般的に肌身離さず持てる長いものや、うろこ模様や七色のものが良いとされています。男性には、ネクタイ・ベルト・財布等。女性には帯、財布等。また厄除けのお守りなどもよいでしょう。　（広報部　松井憲子）

ニューヨーク☆littleマダムだより(第1号)

会員　ニューヨーク在住　鐘ヶ江美和子

３月末に主人の転勤で NY に来てから、早くも半年がたちました。私が住んでいるのはマンハッタンから電車で４０分くらいのところにある、Long　Island の Port　Washington という街です。海沿いにあり、緑が多く、大きな水鳥や白鳥、リスや野うさぎなどが歩道のすぐ脇にいることもあります。NY というと都会というイメージですが、私が住んでいる街は「えっ！ここが NY！？」と思うほど静かで、綺麗なところです。

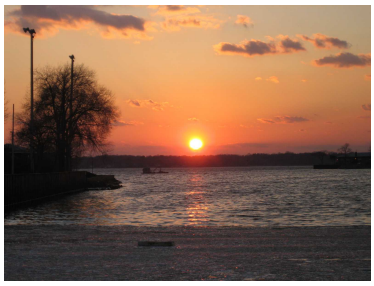
そんな平和で静かな街ですが、住み始めたばかりの頃は知り合いも誰もいませんでした。言葉や文化の違いもあり、外にでるのが怖く、生まれたての小鹿のようにおびえ、ひきこもり生活をしていました。１ヶ月ほどは一人で外に出歩くこともできなかったのですが、このままではいけないとマンハッタンの英会話学校に通う決心をしました。

しかし、いざ当日になるとやはり一人で外にでるのは緊張し、いい大人がこんなことでびくびくするなんて・・・と思いつつ、どきどきしながら駅までの２０分ほどの道のりを歩いていました。しばらく歩いていると、前から若い女性が歩いてきました。ふと目があうと彼女はにっこり微笑みかけてきたのです。私は「あれ？知っている人？いやでも知り合いなんていないし・・」と思いながら、その人の素敵な笑顔につられて微笑みかえしました。
そして、またしばらく歩いていくと、歩道の脇のベンチに座っているおじいさんが笑顔で「お嬢さん、ご機嫌いかが？あなたのその髪型とても素敵だね。よく似合っているよ」と話かけてきたのです。もちろん会ったこともない見ず知らずのおじいさんです。私は別にゴージャスな髪型をしていたわけではないのに・・・。おじいさんに「ありがとうございます」といって通りすぎた私は、あんなに緊張していたのに、なんだか嬉しくなっている自分に気がつきました。

この日だけではなく、こちらの人は目が合うと自然ににっこり微笑みかけてくれます。日本では知らない人と目が合うとすっとそらすだけですが、こちらでは若い人からお年寄りまで、みなにっこりと微笑みます。そして気軽に「おはよう」や「ご機嫌いかが？」など挨拶をしてくれる人や「君のシャツは素敵だね」「可愛い靴だね」などほめてくれる人がいます。アメリカではいろんな国籍やバックグラウンドを持った人たちが集まってくるので、微笑んだり、挨拶をしたりすることは“あなたの敵ではありません、私は友好的な立場にいます”ということを知らせるための習慣だそうです。

ある日、私は駅からの道を家に帰る途中、いきなり豪雨に見舞われてしまいました。傘を持っていたのですが、まったく役に立たたないで歩いていると、一台の車が横に止まりました。若い女性が「こんなすごい雨で大変でしょう。よかったら乗っていって。」と声をかけてくれたのです。見ず知らずの人の車に乗るのは少し抵抗がありましたが、お願いすることにしました。私はびしょ濡れだったので、シートも濡れてしまい、降りる時に「シートが濡れてしまってごめんなさい。ありがとうございました」と言うと、その女性は「気にしないで。すごい雨だったし、当たり前のことをしただけよ」と笑顔で言ってくれたのです。

友達が一人もいなくて、外に出るのも怖かった私ですが、こういった出来事や、すれ違う人たちの笑顔のおかげで住んでいる街がとても好きになりました。笑顔や挨拶、思いやりの心、小さなコミュニケーションによって人の心はこんなにも温かくなり、救われるのだなと実感しました。
日本では最近、知らない人には挨拶をしないようにと子供達に教えていると聞きました。犯罪防止のためだそうですが、なんだかとても寂しいことの様な気がします。



私もまだ戸惑うことはありますが、ふと目が合っても自然に微笑むことができるようになり、挨拶もできるようになりました。電車の中やスーパーで話しかけられても、英語がわからないながらも会話ができるようになってきました。日本で同じことをしたら、確かに少し変わった人に思われるかもしれませんが、私はとても素敵な習慣だと思います。

講師養成講座を受講してみて

第１期生　森田芽維美

私たちは、日々の生活の中で多くの人と出会い、関わり、同じ時間を共有しています。そして多くの人に支えられています。その中で、相手を思いやる真心は大切であり、その思いを形に表わしたもののひとつが「マナー」であり、私は、どのような場面においても必要であると思い、マナー講師養成講座を受講しました。

初めは、堅苦しいものというイメージがあり、緊張と不安でおりました。しかし、岩下先生を初め、事務局の方々の優しさ、人柄に触れ、マナーというイメージが全く変わりました。マナーに正解はなく、相手がいかに心地よく過ごせるか、気持ちよく思っていただけるかという真心だと学びました。講座では、皆で実技をし、丁寧に何度も教えて頂き、楽しく学ぶことができました。先生方や一緒に受講していた皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。なかなかすぐに習ったことを身に着け実践することは難しいですが、エレベーターに乗る時、食事をする時、知人が家に来た時など日々の生活での意識が変わり、できることをしようと心掛けている自分がいました。また、マナーを身に着けるだけでなく、心を磨いてこそ、その心がマナーとしても表れてくるのだと感じ、マナーとともに心も磨いていきたいと思いました。

４月からは社会人として働きだし、縁あって社長室に配属となり、秘書と広報の仕事をしております。とても緊張の日々であり、実際に、社会で、様々な場面で、その状況に応じて相手にとって一番よいマナーを表現することの難しさを痛感しています。しかし、マナー講座で習ったことを十分に生かせる場にいるので、一つ一つ習ったことを現実の社会で実践し、自分のものにしていきたいと思っています。そして、まだまだ先の話ですが、マナー講座を受講させていただいた感謝の気持ちを、将来他の多くの方にも伝えている人へと成長して恩返ししていきたいと思っています。

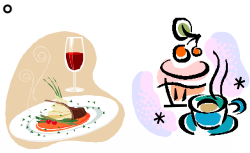
夏休み 親と子のテーブルマナー講座

2006 年 7 月 25 日　サンルートプラザ東京（舞浜）
メイン講師/古関裕美　アシスタント講師/岸田輝美 、田中昌子
参加人数　大人 25 名、子ども 21 名　計 46 名

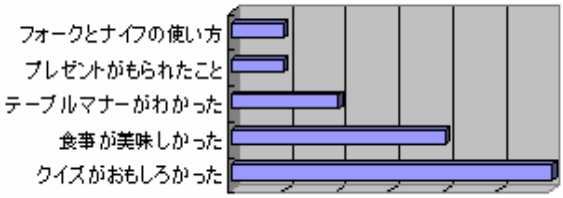
昨年に引き続き今年の夏もサンルートプラザ東京様のご協力で「夏休み 親と子のテーブルマナー」（洋食）を開催することができました。ディズニーランドのシンデレラ城や東京湾を望む素晴らしい会場と創意に富んだお料理をご用意いただき、講座は華やかなものになりました。このたび初めてメイン講師を務める私にとっては立派過ぎる舞台に戸惑いながらも、皆様に助けられ無事講座を終えることができました。自分なりに反省点は多々ありますが、アンケートを拝見した限りでは皆様に楽しんでいただけたようなのでホッとしております。講座の中で想定外だったのは、シンデレラにちなみ、中をくり抜いたかわいらしい黄色いかぼちゃ（蓋付き）に盛られたスープがでてきたことです。参加者の皆さんはかわいいスープに大喜びの様子でしたが、私にとっては通常の食器ではないこの器に少々慌ててしまいました（笑）。また、各国のカトラリー・サイン（食事終了等を表わすナイフやフォークの置き方）について触れた際、皆さんにどの国のスタイルを使っているか、今後使いたいかについてお尋ねしたところ、全員の方が「日本式」と回答されたのが印象的でした。とても楽しい時間を過ごせましたこと感謝致します。

アンケート結果

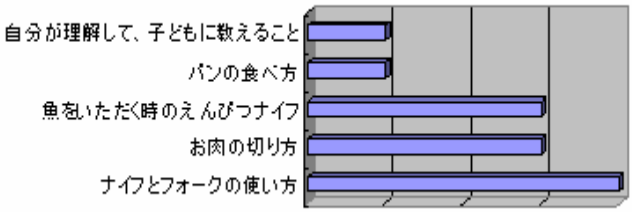
- 貴重な体験をさせていただいて嬉しかった。
- 参加しやすい値段だった。
- 子ども同伴の食事のマナーなど教えて欲しかった。
- 子どもに教えることの難しさを痛感した。
- 講師の説明がたいへん判りやすく非常にためになった。
- 親子でマナーに興味がもてたことが嬉しかった。
- 日本食のマナーをぜひ学びたい。
- 夏休み以外の休みの日にもセミナーを企画して欲しい。
- 家族共々非常に有意義な時間が過ごせ感謝している。とてもいい想い出になった。
- 来年以降も実施されるのであれば毎年参加したい。
- 大変分かりやすく楽しくレクチャーして頂いて家族ともども満足して帰った。



楽しかったことは？



難しかったことは？



☆賛助会員様インタビュー企画☆
第1回　レストランおまかせ亭様

　私どもの活動主旨に賛同してくださっている賛助企業・団体様について、ご紹介させていただきます。今回は、渋谷で心の温まるおもてなしを続けていらっしゃるレストランおまかせ亭様にお話を伺いました。

（←おまかせ亭の皆様、右から山崎シェフ、大沢さん、大久保さん、寺崎さん、他に、千葉さんもいらっしゃいます。）

広報部　　：こんにちは。本日も！とてもおいしいランチありがとうございました♪
さて、山崎シェフ！設立当初より賛助会員になって下さったきっかけについて教えていただけませんか。

山崎シェフ：もともと親交のあった岩下さんからは、以前からＮＰＯ設立の話は伺っておりました。私は、岩下さんが何をするにしても何かの形で繋がっていきたい、応援したいと思っていましたので、「賛助会員」として協力させていただいた次第です。

広報部　　：ありがとうございます。とてもうれしいです。ところで、本日も多くのお客様がご利用なさっているようですが、レストラン経営の信条をお聞かせ願えませんか。

山崎シェフ：おかげさまで、おまかせ亭は１９９５年に開店して１１年目になりました。スタッフの大沢、大久保はキッコーマンレストラン時代からの付き合いでよくやってくれています。自分たちの店を持ってみて、「いらっしゃいませ！」「ありがとうございました！」という関係だけのお店にはしたくないと思いましたね。

広報部　　：え？それは一体どういうことでしょうか？

山崎シェフ：相手のプライベートに立ち入りたいんです（笑）。その人の人生、楽しさや苦しさにも立ち入りたい、立ち入らせてもらえるような関係づくりができるお店にしたいと思ったんですよ。「今日のこのお客様の体調はどうなのかな。」、「元気ないみたいだけど何かあったのかな。」とか考えたりして。旨ければいいというのではなくて、お客様の心と体に合った料理を、“自分たちの手を通して”提供していきたいと頑張っています。そして、お店の外ででも、その人と繋がっていけるような関係づくりをしたいですね。それに、うちでは同じ料理を出さないようにしています。

広報部　　：それはすごい。じゃあ、どのお客様が以前何を召し上がったのか分かるんですか。

山崎シェフ：そうです。何を召し上がったのかだけではなくて、お客様の好みの食材や味付けなど、特に初めて来てくださった方には、大沢がきちんと確認してくれています。
それに大久保は何をいつ出したのかの記録をとってくれているんです。でもこれは自慢ではなくて、私たちの信条だからやっているんですよ。

広報部　　：なるほど！「おまかせ亭」のキーワードが「人」であるという原点がここにあるのですね！

山崎シェフ：ここにいるスタッフ全員が、同じ思いで一緒に働いてくれています。大それた挑戦ですが、お客様を中心としてスタッフ一丸となって、共感を大切にしながら、お客様に満足していただけるお店ができればと願っています。

広報部　　：お客様とスタッフのみなさんとで作り上げていく「おまかせ亭」！ますます目が離せませんね。それでは、山崎シェフの今後の夢、思いについてお聞かせくださいませんか。

山崎シェフ：“名店”にしたいですね！しかし、名店といっても、お客様が家にいるようにくつろげて、記憶に残るお店に。例えば、いつかおまかせ亭がなくなったとしても、「昔、

渋谷のここにおまかせ亭あったよな～」と思い出していただけるような、そんなお店にしたいです。それから、もうひとつ、料理人としての贅沢な夢があるんです。私が作りたいと思った料理を食べていただくことです。食材、味付けなど本来はお客様の好みを考えてなのですが、全て私自身が思うとおりにです。いつか実現したいですね。

広報部　　：素敵ですね。そのときは、是非、私たちにもシェフのお料理を食べさせてください。山崎シェフ、本日は、貴重なお時間を頂戴しありがとうございました。
さて、大沢さん、大久保さんにもお尋ねしたいのですが、お料理やレストランでお客様に接する中でなど、日頃から気をつけている点についてお聞かせ願えますか。

大沢さん　：お客様のご要望が、言葉ではなく、目でわかるようにしていたいと思っています。目で合図を送っている方には、常連の方が多いんですよ。常に気配り・目配りをと意識しています。他のお店によっては、鏡を上手に活用しているところもあるんですよ。お客様が直接見えなくても、鏡に映った合図をキャッチできますから。他には、お客様からのクレームに誠意を持って対応することです。細心の注意を払っていても、飲み物をこぼしてしまうときもあるわけで、そんなとき、どのように対応できるかが、大切だと思っています。こうしたひとつひとつのことが、おまかせ亭のファンになっていただけるかどうかになってくるんだと思っています。そして、山崎シェフの思いと同じで、お店の外ででも、関係が繋がっていたいですね。

広報部　　：本当におまかせ亭のみなさんは一丸となってお客様に接していらっしゃるんですね。それでは、次にこれまで、とても嬉しかったことや感動したことなどはありますでしょうか。

大久保さん：やはり、一番うれしいのは、お料理をすべて召し上がっていただき、お帰りの際に、「おいしかったよ！」とお声をかけてくださるときですね。次回も是非喜んでいただけるようにしたいと気合が入ります。逆に残された場合には、おいしくなかったのかな、それとも体調が悪かったのかなとも考えますね。

広報部　　：なるほど、そうですか。それでは、最後に、一般に私たちがレストランを利用する（食事をする）場合のアドバイスを頂けますでしょうか。

大沢さん　：どこのレストランでもそうだと思いますが、自分の好き嫌いや、お腹の空き具合などのわがままを言ってみてください。そういう状況を何も知らずに、お料理をお出しして、結果的にお料理が残っていると心配になります。そして、食事のあとに予定があるなど、急いでいる場合には、注文時にその旨を是非おっしゃってください。

広報部スタッフ

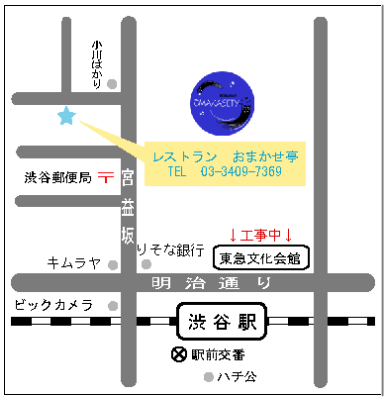
広報部　　：皆様、本日は貴重なお時間を割いていただきまして、どうもありがとうございました。お話を伺いながら、人を大切にされていることが、ひしひしと伝わってまいりました。確かにいつも、おまかせ亭での時間は、おいしく楽しくあっという間に過ぎてしまうなあと思います。「百聞は一見にしかず」是非、多くの方にいらしていただければと思います。

おまかせ亭様からの特典紹介！

レストランおまかせ亭（http://www.omakasety.com/）
東京都渋谷区渋谷１-9 -5　　高橋ビルＢ１
ＴＥＬ　０３－３４０９－７３６９

☆会報誌見ました！の一言で☆

あなたにぴったりのお料理を一品サービス！
（ディナータイムに限ります、１グループ１枚限り有効）



事業部活動報告

【講師養成講座事業部】　　部長　青木まき子

第２期「プロフェッショナルコース」を９月９日スタートし、１０月１日に第３期生を迎え「初級コース」を開講しました。今期より、カリキュラムの見直し図り、新たな講座も加わり、さらに充実した内容と致しました。また、月１回の集中講座から、月２回（１回４時限）の講座とし、全１６単位となります。「実技時間を増やして欲しい」という受講生からの希望に副えられるものと思います。しかしながら、今年度は受講生募集に苦慮をいたし、予定人数を募ることができませんでした。今後は、ＰＲ方法の見直しを検討していかなければならないと痛感しております。

是非、会員の皆様には、今後とも忌憚のないご意見、ご指導を宜しくお願いいたします。

【事業推進事業部】　　部長　岸田輝美

☆夏休み親と子のテーブルマナー

今年も昨年に引き続き、夏休みのイベントとして親子のテーブルマナーを７/２５（火）ホテルサンルートプラザ東京にて開催いたしました。大人２５名・子ども２１名　計４６名の参加をいただきました。ワインの説明のために赤ワイン・白ワインをお出ししたこと、幼稚園ぐらいの小さなお子様には希望をとりお子様ランチを手配したこと（カトラリーはすべて準備）は大変好評でしたので、来年も引き継いでいきたいと思います。

☆夏休み親と子の和食のマナー

昨年のテーブルマナー参加者のアンケートでご要望の多かった「和食のマナー」を初めて企画し、７/２９（土）シビックスカイレストラン椿山荘にて開催いたしました。大人１５名・子ども９名　計２４名の参加をいただきました。毎日使うお箸の扱い方が大変勉強になったと感想をいただきました。今は、食育の視点からも日本人として「和食のマナー」を子どもに伝える場を探していくことが今後の課題です。

＝今後の予定とお願い＝

☆お誕生会のマナー

新聞に「お誕生会ブルー」という記事をみつけたことからこの企画を考えました。悩みは招く側、招かれる側双方にあり、訪問のマナー・おもてなしのマナーに通じることを感じました。（玄関では？　椅子の座り方は？　お茶・お菓子の勧め方、いただき方など）この企画はお菓子メーカーとタイアップで実現したいと思っております。会員の皆様の中に働きかけてみては、というところがありましたらご協力をお願いいたします。

花天の会について

１０月１日に認定講師の会として、花天の会が発足し、１０月８日に発足式が開催されました。以下は花天の会についての説明紹介です。

　花天の会は、マナー教育サポート協会が主催する講師養成講座を受講し、認定証を授与された方達の会です。花天の会は、花天、即ち、花が空一杯に咲き誇るように、認定証を授与された講師の方達ひとり一人の活動により「マナーのこころ」が多くの子ども達に広く行き渡っていくことを期待して名付けたものです。そして、マナーのこころを理解した子ども達が、どのような場に居ても、どのような地に居ても、お互いを大切にしながら伸び伸びと育ち、ふれ合うこころの中で思いやりの花を咲かせてほしいと願いつつ名付けたものです。
　花天の会の運営は以下のルールに則り進められます。

会員
マナー教育サポート協会の講師養成講座を受講し、人格・技量に優れ、当協会より認定証を授与された方達で構成されます。なお、花天の会会員は、マナー教育サポート協会会員としての帰属を義務づけられるものではなく、個々といたします。

目的
花天の会の目的は以下の通りです。
１．マナー教育サポート協会から授与された認定証の有効期間継続の承認手続きを本会の年会費納入をもって行います。
　認定証を取得された方達が認定証を維持するためには本会に帰属していることが必要です。
２．会員が、認定された力量とマナーに対する姿勢を維持し、実践的な活動を継続しうるように、セミナーを年１回開催するとともに、会員相互のコミュニケーションの場となる大会を開催します。

年会費
会員は、認定証の有効期間継続の承認手続き、セミナー及び会員の親睦を兼ねた大会などの運営のため、年会費１０，０００円を納めるものとします。

運営体制
花天の会を運営していくため、会長、副会長と若干名のスタッフを配置します。
なお、本会は、円滑な運営を進めるため、マナー教育サポート協会の運営体制の一部門と位置づけます。

本会の発足
本会は平成１８年１０月１日発足といたします。

注：運営メンバー
花天の会の運営メンバーは次のとおりです。
会長：岩下宣子　副会長：高村多英子　スタッフ：向山邦子、古関裕美

参考
花天月地という言葉がありますが、これは、空には花が咲き、地には月かげ（月の光）が満ち渡っている様を表し、花咲く陽春のころの月夜の景色をいいます。

活動報告及び予定について

活動結果報告（第３期下期）

５月２０日　講師養成講座中級コース講座、第２回講師資格認定授与式
６月１日、２４日、２９日、７月２２日、２４日、８月１２日、１９日、９月２４日、３０日
日本サッカー協会アカデミー福島様　マナー研修
７月１２日　千葉市立稲毛中学校職場体験実習事前研修（千葉）
７月１５日　講師養成講座中級コース講座
７月２５日　夏休み親と子のテーブルマナー（於：千葉県ホテルサンルートプラザ東京）
７月２９日　夏休み親と子のテーブルマナー（於：東京都シビックスカイレストラン椿山荘）
８月　５日　旭化成ホームズ様講演（静岡）　、講師養成講座中級コース修了試験
９月　９日　講師養成講座プロフェッショナルコース講座
９月１０日　旭化成ホームズ様講演（岡山）　１６日　旭化成ホームズ様講演（埼玉）
９月２８日　第３期第３回理事会　以上

活動予定（第４期上期）

１０月１日、１５日、１１月５日、１９日、１２月３日、１７日、１月７日、２１日、
講師養成講座初級コース講座
１０月９日、１１月１１日、１２月２日、１月１２日
講師養成講座プロフェッショナルコース講座
１０月２６日、１１月２３日、１月２５日、２月１５日、３月１５日
日本サッカー協会アカデミー福島様　マナー研修
１０月２７日　東松山市立松山中学校職場体験事前研修（埼玉）
１０月２８日、１１月１３日、２５日、２月３日、１７日
旭化成ホームズ様（福岡）（静岡）（広島）（千葉）
２月　未定　講師養成テーブルマナー実地講座（和食）
３月　未定　講師養成初級修了試験
３月　未定　協会認定講師資格試験　以上

甘草屋敷（重要文化財 旧高野家住宅）の子ども図書館のＰｈｏｔｏ Ｓｈｏｔ

甲州市塩山駅北口に大きな木造民家があり、
その横に開設されている子ども図書館です。

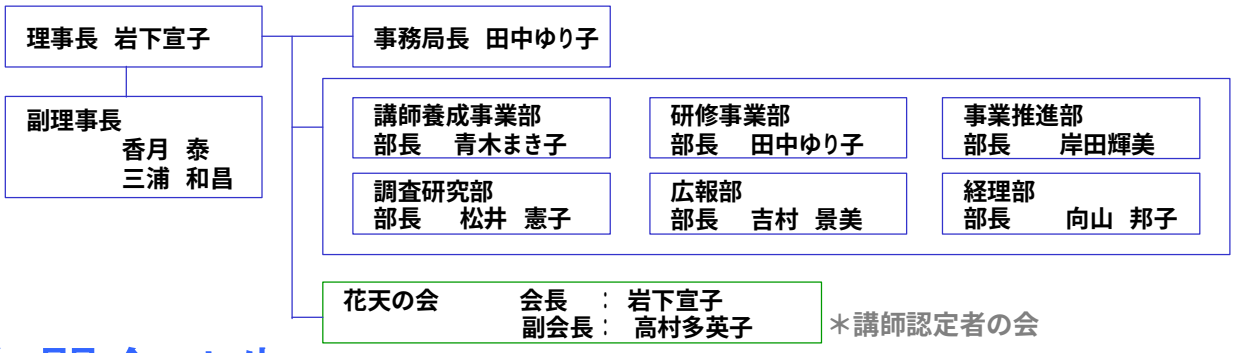
賛助協賛企業・団体様

五十音順

■ＮＴＴコムウェア株式会社　様　(http://www.nttcom.co.jp/)
■株式会社ＮＴＴデータ　様　(http://www.nttdata.co.jp)
■株式会社 NTT ﾃﾞｰﾀｺﾐｭﾆﾃｨﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ　様　(http://www.nttdata-cp.co.jp/)
■キッコーマン株式会社　様　(http://www.kikkoman.co.jp/)
■株式会社協和エクシオ　様　(http://www.exeo.co.jp/)
■有限会社グローバルシティ　様　(http://www.globalcity.co.jp/)
■株式会社ケーズワイスポーツ　様
■コムシスホールディングス株式会社　様　(http://www.comsys-hd.co.jp/)
■サンルートプラザ東京　様　(http://www.sunroute-plaza-tokyo.co.jp/)
■株式会社ＧＣＭコーポレーション　様　(http://www.gcmco.jp/)
■株式会社スリーライト　様　(http://www.threelight.co.jp/)
■学校法人誠真学園小中台幼稚園　様　(http://www.ans.co.jp/k/konakadai/)
■大明株式会社　様　(http://www.daimei.co.jp/)
■レストランおまかせ亭　様　(http://www.omakasety.com/)

運営・体制

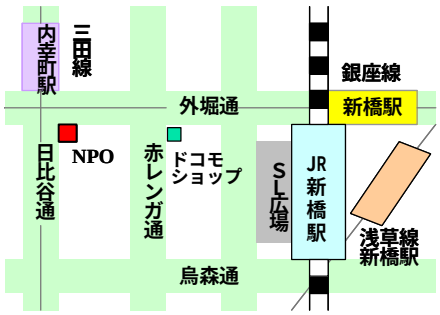
●当協会は、会員の声を集約し、以下のメンバーにより構成される【運営会議】によって検討・決定され実行に移されます。
運営会議構成メンバー＞＞事務局長、各事業部長（必要に応じて、理事長、副理事長が参加）。
●現行の運営体制は以下のとおりです。（H17.10.1～）
各部における運営に関するお問合せは事務局長又は各事業部長までお願いします。



お問合せ先

NPO M.S.A

特定非営利活動法人　マナー教育サポート協会
認証番号：15 生都協市特第 1585 号（平成 15 年 11 月 5 日東京都）
所 在 地：東京都港区新橋２-1-1　山口ビル５Ｆ
＜㈱ＮＴＴデータコミュニティプロデュース内＞
電話＆ＦＡＸ：０３－３５０６－３８３１
メール　　：info@e-manners.org
ホームページ：http://www.e-manners.org



2006年10月21日発行（年２回：5月＆10月発行予定）　発行・編集・制作＝特定非営利活動法人マナー教育サポート協会　広報部
Copyright © 2006 NPO Manners Support Association. All rights reserved.　※本掲載記事及び画像の無断転用を禁じます。
挿絵の一部はCopyright (c)ivory All Rights Reserved. (http://www8.plala.or.jp/p_dolce/)